2027年3月期　中間決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年11月13日

上 場 会 社 名　株式会社アップルパーク　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　164A　　ＵＲＬ　https://www.applepark.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）山中　直樹
問合せ先責任者　（役職名）　管理管掌取締役　　（氏名）上野　篤資　　ＴＥＬ　03（ 3901 ）6199

中間発行者情報提出予定日　2026年12月25日　　配当支払開始予定日　－
中間決算補足説明資料作成の有無：　無
中間決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期中間期の業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（1）経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	2,984	2.5	297	△24.6	316	△21.6	184	△32.6
2026年3月期中間期	2,910	8.8	394	25.9	403	27.5	274	30.6

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	138.49	－
2026年3月期中間期	205.58	－

（注）2026年3月期中間期及び2027年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	6,066	1,930	31.8
2026年3月期	5,591	1,795	32.1

（参考）自己資本　2027年3月期中間期　1,928　百万円　　2026年3月期　1,793　百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	0.00	37.48	37.48
2027年3月期	0.00		
2027年3月期（予想）		37.48	37.48

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,477	8.0	752	0.1	807	5.5	502	0.2	376.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（1）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.7「2.中間財務諸表及び主な注記（4）中間財務諸表に関する注記事項（中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期中間期	1,334,000株	2026年3月期	1,334,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	-株	2026年3月期	-株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	1,334,000株	2026年3月期中間期	1,334,000株

※　中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1．経営成績等の概況…… 2
(1) 当中間期の経営成績の概況…… 2
(2) 当中間期の財政状態の概況…… 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明…… 2
2．中間財務諸表及び主な注記…… 3
(1) 中間貸借対照表…… 3
(2) 中間損益計算書…… 5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書…… 6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項…… 7
（継続企業の前提に関する注記）…… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）…… 7
（中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）…… 7
（セグメント情報等の注記）…… 7

1．経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、物価上昇が継続するなか、中東情勢や自然災害の影響、金融資本市場の変動等もあり、先行きについては引き続き不透明な状況が続いております。

当社の属する駐車場業界においては、人流の回復やインバウンド需要の持ち直しを背景に、商業地や観光地を中心に駐車場の稼働が堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社は積極的な営業活動を行い、採算性が高い新規事業地の獲得に取り組むとともに、既存事業地における収益改善策を継続的に実施し、事業基盤の拡大及び収益力の向上に努めました。また、マルチ決済端末の設置によるキャッシュレス化や、車番認証システムを利用したロックレス駐車場、チケットレス駐車場の開設など、利用者の利便性向上にも取り組みました。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は2,984,247千円（前年同期比2.5%増）となりました。利益面につきましては、事業地の拡大に伴う地代及び用地手数料を中心とした売上原価の増加に加え、人材の確保・定着に向けた人件費等が増加したことから、営業利益は297,200千円（同24.6%減）、経常利益は316,158千円（同21.6%減）、中間純利益は184,750千円（同32.6%減）となりました。

なお、当社は時間貸し駐車場・駐輪場の開拓と運営管理に関する事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産の部）

総資産は6,066,312千円（前期末比474,346千円増）となりました。流動資産につきましては、4,087,105千円（同358,422千円増）となりました。これは主に、現金及び預金の増加318,110千円によるものです。固定資産につきましては、1,979,207千円（同115,923千円増）となりました。これは主に、有形固定資産の工具器具及び備品の増加19,727千円、構築物の増加14,149千円、投資その他の資産のその他に含まれる保険積立金の増加64,334千円によるものです。

（負債の部）

負債は4,135,378千円（同338,908千円増）となりました。流動負債につきましては、1,572,908千円（同16,695千円減）となりました。これは主に、未払法人税等の減少44,936千円によるものです。固定負債につきましては、2,562,469千円（同355,604千円増）となりました。これは主に、長期借入金の増加340,920千円によるものです。

（純資産の部）

純資産は1,930,934千円（同135,437千円増）となりました。これは、主に中間純利益184,750千円の計上によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は2,762,617千円（前期末比241,889千円減）となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は275,933千円（前年同期は418,177千円の獲得）となりました。これは主に税引前中間純利益の計上289,397千円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は835,571千円（前年同期は67,970千円の支出）となりました。これは主に定期預金の預入れによる支出563,000千円、有形固定資産の取得による支出167,084千円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は317,749千円（前年同期は135,780千円の獲得）となりました。これは主に長期借入れによる収入1,000,000千円、長期借入金の返済による支出568,398千円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の通期の業績予想につきましては、2026年5月15日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年3月31日)	当中間会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,149,600	3,467,711
売掛金	129,078	154,395
貯蔵品	21,030	17,928
前払費用	311,556	310,659
その他	117,444	136,716
貸倒引当金	△27	△305
流動資産合計	3,728,682	4,087,105
固定資産		
有形固定資産		
構築物（純額）	435,491	449,641
リース資産（純額）	434,946	442,220
その他（純額）	342,488	364,665
有形固定資産合計	1,212,926	1,256,527
無形固定資産	622	10,316
投資その他の資産		
その他	650,609	713,238
貸倒引当金	△875	△875
投資その他の資産合計	649,734	712,363
固定資産合計	1,863,283	1,979,207
資産合計	5,591,966	6,066,312

（単位：千円）

	前事業年度 （2026年3月31日）	当中間会計期間 （2026年9月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	113,625	84,302
１年内返済予定の長期借入金	758,331	849,013
リース債務	119,592	129,845
未払法人税等	149,120	104,183
賞与引当金	90,900	82,290
その他	358,035	323,274
流動負債合計	1,589,604	1,572,908
固定負債		
長期借入金	1,637,014	1,977,934
リース債務	324,352	332,749
資産除去債務	224,153	232,144
その他	21,345	19,641
固定負債合計	2,206,865	2,562,469
負債合計	3,796,469	4,135,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金	1,695,794	1,830,544
株主資本合計	1,795,794	1,930,544
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,403	△1,702
評価・換算差額等合計	△2,403	△1,702
新株予約権	2,106	2,092
純資産合計	1,795,496	1,930,934
負債純資産合計	5,591,966	6,066,312

(2) 中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年4月1日 至　2025年9月30日）	当中間会計期間 （自　2026年4月1日 至　2026年9月30日）
売上高	2,910,477	2,984,247
売上原価	1,810,889	1,913,249
売上総利益	1,099,588	1,070,998
販売費及び一般管理費	705,334	773,797
営業利益	394,253	297,200
営業外収益		
受取保険金	14,533	14,164
保険解約返戻金	－	20,770
その他	15,501	17,080
営業外収益合計	30,034	52,016
営業外費用		
支払利息	17,346	28,844
その他	3,568	4,213
営業外費用合計	20,915	33,057
経常利益	403,373	316,158
特別利益		
固定資産受贈益	16,216	－
固定資産売却益	－	3,823
受取保険金	－	13,107
新株予約権戻入益	－	13
特別利益合計	16,216	16,944
特別損失		
減損損失	11,043	43,705
特別損失合計	11,043	43,705
税引前中間純利益	408,545	289,397
法人税等	134,298	104,647
中間純利益	274,246	184,750

（3）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年4月1日 至　2025年9月30日）	当中間会計期間 （自　2026年4月1日 至　2026年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	408,545	289,397
減価償却費	127,461	145,487
固定資産受贈益	△16,216	－
受取保険金	－	△13,107
固定資産売却損益（△は益）	－	△3,823
固定資産除却損	54,370	41,903
減損損失	11,043	43,705
賞与引当金の増減額（△は減少）	△15,600	△8,610
受取利息及び受取配当金	△1,615	△3,201
支払利息	17,346	28,844
貸倒引当金の増減額（△は減少）	206	278
売上債権の増減額（△は増加）	△18,833	△25,316
棚卸資産の増減額（△は増加）	△3,960	1,260
前払費用の増減額（△は増加）	△8,629	9,479
預け金の増減額（△は増加）	△5,968	11,855
未払消費税等の増減額（△は減少）	435	△31,946
仕入債務の増減額（△は減少）	△8,117	△26,407
契約負債の増減額（△は減少）	△15,285	△16,551
未払金の増減額（△は減少）	11,966	△16,819
未払費用の増減額（△は減少）	2,235	3,784
預り金の増減額（△は減少）	△2,687	288
その他	6,373	8,482
小計	543,069	438,984
利息及び配当金の受取額	1,604	3,165
利息の支払額	△17,737	△29,740
保険金の受取額	－	13,107
法人税等の支払額	△108,759	△149,583
営業活動によるキャッシュ・フロー	418,177	275,933
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入れによる支出	△131,000	△563,000
定期預金の払戻による収入	330,000	－
有形固定資産の取得による支出	△180,183	△167,084
有形固定資産の売却による収入	－	5,642
保険積立金の積立による支出	△69,138	△74,508
保険積立金の解約による収入	－	10,174
敷金及び保証金の差入による支出	△18	△4,500
敷金及び保証金の回収による収入	228	2,104
資産除去債務の履行による支出	△17,272	△17,399
短期貸付金による支出	－	△27,000
その他	△586	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,970	△835,571
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	600,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△368,294	△568,398
リース債務の返済による支出	△48,031	△63,852
配当金の支払額	△50,000	△50,000
新株予約権の発行による収入	2,106	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	135,780	317,749
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	485,986	△241,889
現金及び現金同等物の期首残高	2,080,297	3,004,506
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,566,284	2,762,617

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

当社は時間貸し駐車場・駐輪場の開拓と運営管理に関連する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。